

私たちは建物のすべてに想いを馳せる構造設計者です

1. 社会的責任を自覚し、強い倫理感を持ち続けます
2. 建物に関わるすべての人と創る喜びを分かち合います
3. 北海道で培った実績を糧として、常に改善と研鑽に努めます
4. 構造のみならず、あらゆることに配慮し、設計の軸としてプロジェクトを支えます

1. 社会的責任を自覚し、強い倫理感を持ち続けます

建物は街を構成する社会の資産です。私たちはこの社会の資産を守り、人々の安全安心を担う重要な役割を自覚しています。

構造設計は、法律だけでは定義しきれない様々な事象に配慮して、工学的判断が求められる仕事です。公平中立な立場で強い倫理感を持ち続けながら、設計に取り組みます。

2. 建物に関わるすべての人と創る喜びを分かち合います

私たちは、建物を創り上げ供用される中で、施主はもちろんのこと、設計者、施工者、利用者、社会、すべてに歓んでもらえることを目標としています。

そのためには、相手が何を求めているのかを適切に把握し、すべての関係者がWIN-WINとなるよう最善の努力を尽くします。

+ α の提案により、歓ばれる建物を創り出し、それを自らの喜びとしてまた研鑽に励む、この循環を継続するよう努めます。

3. 北海道で培った実績を糧として、常に改善と研鑽に努めます

北海道に根ざして60年。これまでに培った信頼と積雪寒冷地に対する建築技術の実績は私たちの糧となっています。

今の状況に満足することなく常に改善点を探し、新しいことに挑戦し続け、技術に磨きをかけていくことが、更なる信頼を得ることであると考えます。

先輩たちが私たちに残してくれた礎を次の世代に引き継いでゆき、信頼される設計事務所であり続けるため、日々の努力を惜しみません。

4. 構造のみならず、あらゆることに配慮し、設計の軸としてプロジェクトを支えます

ひとつの建物は施主や設計者、施工者、利用者など多くの関係者の協働作業により創り出される唯一無二の存在です。

私たちは各関係者との協働を重視し、構造設計だけを考えるのではなく、全体を俯瞰し建物に関わるあらゆることに思いを巡らせ、設計の軸として、より良い建物を創り出すことを目指します。